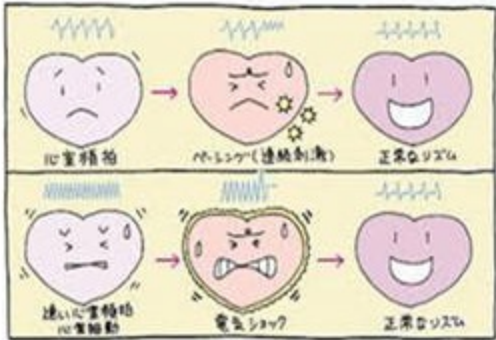


AEDについてのお話

臨床工学技士 小館 憲和

< AEDの役割って何? >

AEDは心筋に大電流を流すことによって心室細動や無脈性心室頻拍といった「けいれんした状態の心臓」の状態を正常な動きに戻す効果があります。



★AED使用時の1ヶ月後生存率！！

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
一般市民が目撃した全症例中の生存率	11%	12%	12%	12%	13%
一般市民がAEDを利用した場合の生存率	45%	41%	50%	50%	54%

(総務省消防庁「救急・救助の現状」より)

AEDを使わなかったケースに比べると生存率には約4倍もの差があります。
AEDを使わなければいけない時、適切に使えるでしょうか？

- そのために！
1. AEDがどこにあるのか「設置場所」
 2. AEDをどう使えば良いか「正しい使い方」・・・を知っておきましょう。

◎AEDの設置場所として・・・

1. 駅・空港
 2. 長距離輸送機関(フェリー・新幹線等)
 3. スポーツ関連施設
 4. 大規模商業施設(デパート・スーパー等)
 5. 多数集客施設(ライブイベント会場・マラソン大会等)
 6. 公共施設(市役所・公民館・交番・消防署等)
 7. 高齢者の為の介護福祉施設
 8. 学校(小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校等)
 9. 会社・工場、遊興施設(パチンコ・競馬・競輪等)
- その他としては最近ではコンビニエンスストアなどでも設置していますね。

ちなみに・・・

当院では
1階正面玄関
2階西病棟
4階西病棟
5階リハビリ棟 にあります。

「正しい使い方」については、また次回

